

龍王峡山行報告

【山行日】2021年11月20(日) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園P AM 7:00
【費 用】マイカー2台 : 1,600円
【メンバー】CL:鈴木、 SL大西、
安西、伊藤、嶋田、島田、鈴木ヒ、関、津佐、廣瀬。
福田夕、藤原ト、渡辺
【コースタイム】栃木市運動公園P7:00=
龍王峡駅 P7:55/8:11+++川治湯元駅 8:25/8:40~
小網ダム 9:00~浜子橋 9:50/10:00~白岩
10:30/10:40~むささび橋 11:10/11:45~虹見橋
12:05/12:15~龍王峡駅P12:30/12:40=日光おかし 13:05/13:30=栃木市運動公園P14:15



去年は個人山行で平日に計画したので、今年は山行アンケートでリクエストがあり月例山行で計画した。人気の山行で、13名の参加者が2台の車に分乗し、栃木市運動公園Pを7時に出発する。東北道から日光宇都宮道路を走り、今市ICで降りて鬼怒川温泉と川治温泉の間にある龍王峡駅に向かう。龍王峡駅前の駐車場に車を止め、出発の準備をしてトイレを済ませる。龍王峡駅から会津鬼怒川線に乗り川治湯元駅で降りる。駅前の広場でストレッチを行い、今回は新入会員のF原氏デビューの山行なので、全員の自己紹介を行う。駅を出発し道路を左に進み、直ぐに右の坂道を下って行く。川治運動場を抜けると右の黄金橋を渡り、あじさい公園の遊歩道を歩くようになる。公園にはカエデの紅葉が残っており、陽射しを受けたモミジがとても綺麗だった。ここからしばらくは鬼怒川の右岸に付けられた道を歩き、小網ダムから河岸を離れ逆川林道の舗装道路を歩くようになる。しばらく進むとトンネルを3ヶ所通るが、最後の逆川第一トンネルは長くてヘッドランプが必要なくらい暗かった。トンネルを過ぎた少し先から、左に戻るように坂道を下ると浜子橋に出る。橋の手前で休憩し、ナシや菓子を食べた足をとめる。浜子橋の吊橋で鬼怒川の左岸に渡り、急坂を登ると舗装道に出る。舗装道を右に進むと川治第二発電所の脇を通り、直進すると遊歩道を歩くようになる。カエデの紅葉が素晴らしく、皆さんから「ウワ〜綺麗」と感嘆の声が上がって記念写真を撮る。ここからが龍王峡で岩の遊歩道をアップダウンを繰り返しながら進み、白岩半島と言われる鬼怒川がヘアピンカーブで曲がる場所だ。白岩半島の下に平らな砂地があり、多勢のハイカーが休憩している。



我々は遊歩道のベンチで休憩し、リンゴやゼリーを食べエネルギーを補給する。この先からが龍王



峡の核心部で、「かめ穴」や「免はね」「五光岩」「大観」と見どころが連続する。自然が年月をかけ創り出した芸術を楽しみながら歩き、カエデの紅葉が彩りを添えてくれ絶景を満喫できた。

平らな歩きやすい道になるとカエデの紅葉が一段と多くなり、本日のコース一番の紅葉が迎えてくれた。赤やオレンジ色や黄色、緑色とモミジのグラデーションに皆さん大喜び。すぐ先のトイレに寄ってからむささび橋を渡り、右岸のテーブルとベンチでランチタイムとする。定番のキノコうどん

を作り、出汁巻き卵やゴボウの煮物、漬物などが並び豪華なランチをいただく。食後皆さんから次々にお菓子が配られ、お茶を飲みながらいただいたら出発する。ムササビ橋からは右岸と左岸

の両側に遊歩道があるが、今回はそのまま右岸を歩く。ここから虹見橋までは観光客が多く、グループやファミリーが次々に歩いてくるのですれ違いに気を使う。対岸の紅葉や滝を見ながら楽しく歩き、階段を下ると虹見橋に出る。ここが一番観光客が多い場所で、橋の上から景色を楽しむビューポイントである。



虹見橋を渡って対岸に出ると左岸の道に合流し、右に進むと五竜王神社が祀られた展望所に着く。虹見ノ滝や龍王峡の展望が素晴らしく、神社をバックに記念写真を撮る。ここから九十九折れの道を登るとお土産店が並ぶ道に出て、左に進むと龍王峡駅前の駐車場に着く。靴を履き

替えたらトイレを済ませ、車に分乗して「日光おかき」へ向かう。日光おかきでお土産のせんべいをゲットしたら帰路につく。穏やかな天気恵まれて快調に歩き、カエデの紅葉も沢山見られ充実したハイキングを楽しめた。

